



thought to accelerate



thought to accelerate



thought to accelerate

Presented by Akiduki & MienoMousouzoku

……はあ罪だな
鈍感というものは

ハルユキ君キミが
なかなか覚悟を
決めないのが悪いのだぞ

はあ……

「ずっと僕の傍に
いてください」と
か言っておいて

本当に傍にいる
だけではないか

私だとして女の子なのだ
そういうことを
夢見たりするのだぞ

むしろキミはそれ以上のことを
私にしても良いのだ
親と子ではなく男と女の関係
というものを……

キスくらいキミから
してくれたって
良いではないか

馬鹿っ……

はあ……

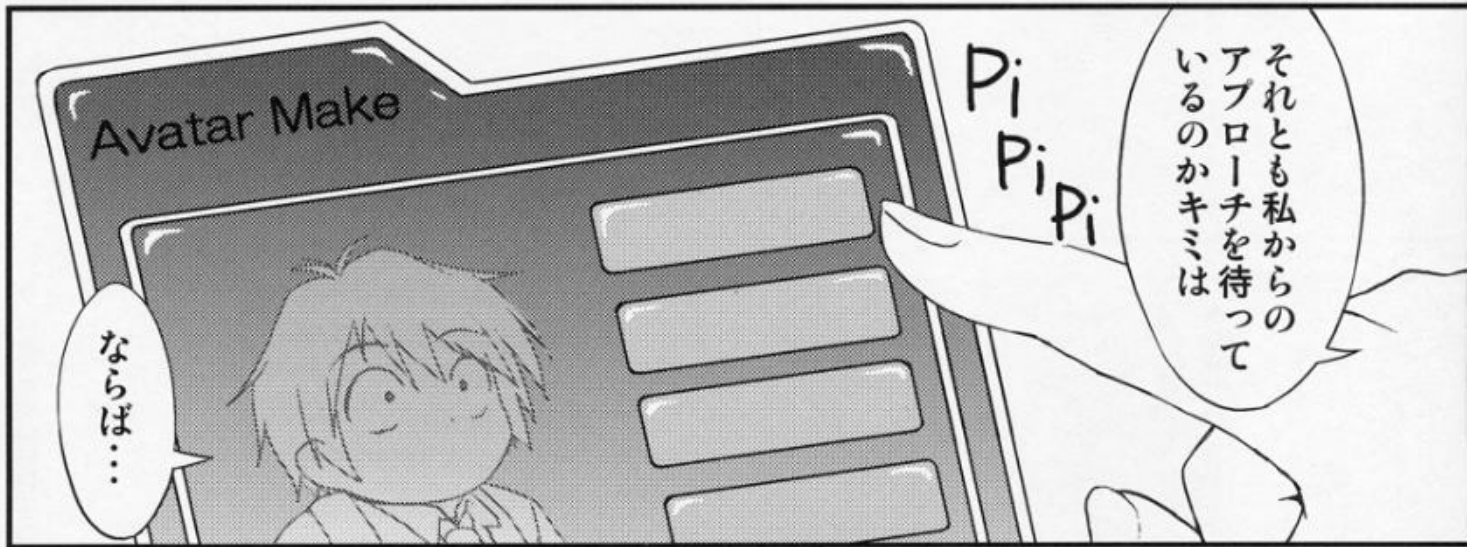


私とて覚悟を決めて
キミの家で添い寝まで
したというのに

何もして来ないなど
まるで私に魅力が無い
見たいではないか

トラ
トラ

まがきゅ



それとも私からの
アプローチを待って
いるのかキミは

Pi
Pi
Pi

ならば…

thought to accelerate



はい

まあいいちよつと
加速してみたまえ




これは
なんですか？

私からキミへの
プレゼントと
言ったところだ


Pi

YES


NO




バースト・
リンク




あれ？なんで
今日はアバターの
姿じゃないんだろ？



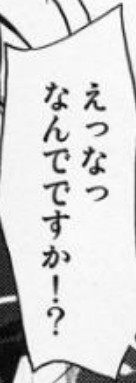
それはだな



こうでもしないと
この世界でキミと
抱き合えないだろう



キミのニューロリンクに
私が作ったアバターの
リアルトレース機能を
インストールしたのだよ



えっなっ
なんでですか！？

いつまでたっても
キミが私に手を出して
くれないのでな

ちちがいます！
それは先輩に手を
だしたら僕は何を
してしまうか…

そうか
それはよかった
てつきり私に魅力が
無いものだと
思っていたのだぞ

なら
このまま親と子の
関係を超えてしまうと
言うのはどうだろうか？

言葉通りの
意味だが

いいいいいいいきなり
何を言ってるんですか
先輩！

うき

あ
あ

さっさっ



せ先輩!?

あむ

立派なものがあるではないか



そんな卑屈になるものではない



待ってください先輩
もう……出ちやいます……



ちゅん
ちゅん
ちゅん

ちゅん
ちゅん



ちゅん
ちゅん
ちゅん

ちゅん
ちゅん
ちゅん



出すのならこっちに
出してくれないか？

はっ

待つのだ
ハルユキ君…

なに
してるんですか

はっ





すすすすいません!
中に…
すぐ抜きますから

はい

フフ謝る事など
無いのだぞ
むしろ私は嬉しいのだ
君は私の膣ちんぽが気持ち
よかったから
射精したのである



それに私の中でまだ
硬いままだな
今度は君がしてくれれば
私は嬉しいのだが



.....





おっ

先輩の綺麗で…
えっちな形
しています

バ、バカ!
そんな感想など
言わなくても

あ、あ、あ

ビク
ビク

いきなり
奥まで…

ギンギン



先輩の中暖かくて
すごく気持ちいです

はい!

だからとて
いきなりこんな
激しく…

ななら
遠慮せず…

好きなように
動いていいぞ



ハルユキ君…
もう…少し…
ゆっ…ひう



ずいっ

もっと
早くですか

ちが…だめ



だめだ…
はやすぎっ



いつくう
イってしまっ…

君のが…
気持よすぎて

もうだめ…だ





もっと気持ちよく
させたいです



僕は先輩と
もっとしたいです

ままだ私は
イッたばかりで
まだっ



そんな私の弱い所
ばかりしつこく
されたらまたすぐに

フッ
フッ
フッ

先輩
気持ちいいですか？

気持ちいいから
もう少しまって

本当にこれ以上は
だめだ…

だめえ…

フッ
フッ
フッ





だめそんなされたら
壊れてしまう...

ひあ...っ

あっ

あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ

あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ



ひあっ



先輩またイキそう
なんですわね

あっ



だめ…もう
何度もイッてる…

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ



いき過ぎて
壊れてしまう…から

はい僕ももう
限界です

だめ…もう無理だ
またイクっイック
ああ…あ…あ





あとがき


こんにちわ秋月です！
今回は原作として三重の妄想族さんとの合同企画となりまして
アクセルワールド本となりました！

シナリオ:三重の妄想族
作画:秋月秋名

となっております。
いやぁ他の方の原案で描くのがって難しいですね
おっばいの意見で食い違ったり先輩のアバター姿では
「パンツ」を穿いてるか穿いてないかで激論したり！！

さすがに穿いてないと表紙にはできないのでここは折れてもらいましたが(汗

それと…心残りは

←  描き残した…orz

←は 個人的に最後のオチとして入れたかったページ
全部先輩の妄想END 先輩の一人突っ込みと妄想したことに
真っ赤になってるのが描きたかったのですが…

時間が間に合わなくて下書きをのっけるだけになってしまいorz

クールな先輩も好きですが、ハルユキのいないところで
恋する女の子になってる先輩も書きたかったなぁ
デレデレな先輩とかも見てみたいですよねえ

————つキミは私に
何を想像させるのだ!

こんなこと私から
できるわけ
無いではないか

ブレインバーストの世界が
崩壊してもこんなことは
無理だ!

だいたいキミが
全部悪いのだ全部!

私と一緒にベッドで
あそびまでさせておいて
何もしないなんて…

何もしないで
寝るなんて!

馬鹿っああ!

おしおし



■奥付

- thought to accelerate
- 発効日:2012.06.24
- 発行元:むげん@WORKS
- 責任者:秋月秋名
- 印刷:みかんの樹様
- 連絡先:<http://mugen-works.com/>
akiduki226@gmail.com





D-Loop 07



むげん
WORKS

<http://mugen-works.com>